



鶴居村

つるい 議会だより

子ども達の笑顔と未来のために



指先にも目が

雪裡の飛翔チーム(鶴居小3年生)

平成26年度予算・注目施策・・・・・・・・P2～P5

平成26年度予算Q & A・・・・・・・・P6～P7

6名が村政を問う

一般質問・・・・・・・・P13～18

議会改革

産業委員会

意見交換会・・・・・・・・P20～P21

総務委員会

意見交換会・・・・・・・・P22～P23

住民の声・・・・・・・・P24



the most beautiful
villages
in japan



平成26年度一般会計 予算

39億 1300万円

サンキュウ 意味ある予算

6特別会計との総額 47億6830万円

平成26年度一般会計予算

一般会計は、平成25年度当初予算に対し、7億2700万円増の、39億1300万円となり、前年対比22・8%の増となりました。

しかし、前年度は鶴居小学校改築事業などの多額の繰越明許費(注1)が生じているため、実質的な予算比較は、前年対比3・7%の減となります。

今年度の予算は、ハード・ソフト合わせて新規事業が目立ちます。

特に、教育関係の施策については、前年対比54%増となり、人材育成や子育て支援、教育環境の整備など、大石村長の掲げる「笑顔と活気あふれる協働のむらづくり」を将来支えるであろう子どもたちへの想いが表れています。

注1) 繰越明許費・・・事業の性質上、または何らかの事情でその年度内に、支出を終わらない見込みがある経費について、翌年度に繰り越して使用することが出来るように議会の議決を経て定める予算。



1128万円

子どもたちは未来の力

高等学校等人材育成事業

保護者の経済的な負担の軽減を図ることと就学上の利便性のため、高校などに在学する生徒の人材育成に資することを目的として、1人につき、3年間にわたって月額1万円を支援します。支援金の支給は、年3回に分けて交付します。

(P13参照)

教育施策(前年比 54%増)の 積極的な予算配分

放課後児童クラブ指導員

放課後の児童の安全な居場所の確保と健全育成を目指し、ふるさと情報館「みなくる」で、指導員1人を配置し、見守り活動を実施します。

また、平成27年度以降の放課後児童対策などを計画する「鶴居村子ども・子育て支援事業計画」の策定についても検討を行います。



495万円

児童の健全育成を目指して



1億3061万円

思いっきり 実験しよう

下幌呂小学校増改築事業

理科室や音楽室、図工室を中心とする特別教室などの整備を行います。

(P18参照)

また、学校施設は地域住民の緊急避難場所となるため、鶴居中学校の耐震化工事も実施します。



子育て世帯臨時 特例給付金

消費税増税の対策として、児童手当を支給されている家庭に国が1万円支給します。

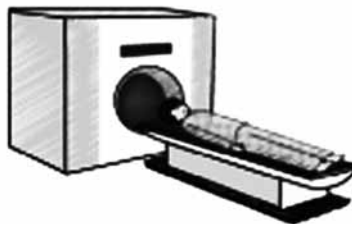
340万円



脳ドック検診

脳疾患の早期発見と予防対策として、40歳以上の村民に対して助成を行います。

100万円



移住体験住宅新築

鶴居・幌呂両地区に1戸ずつ移住体験住宅を建設します。

2592万円



ロタワクチン接種

乳児のロタウイルス胃腸炎を予防するために、ほぼ全額を助成します。

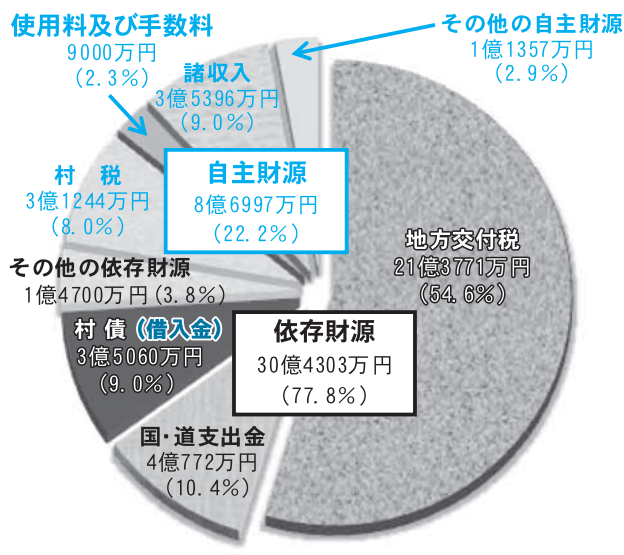
24万円



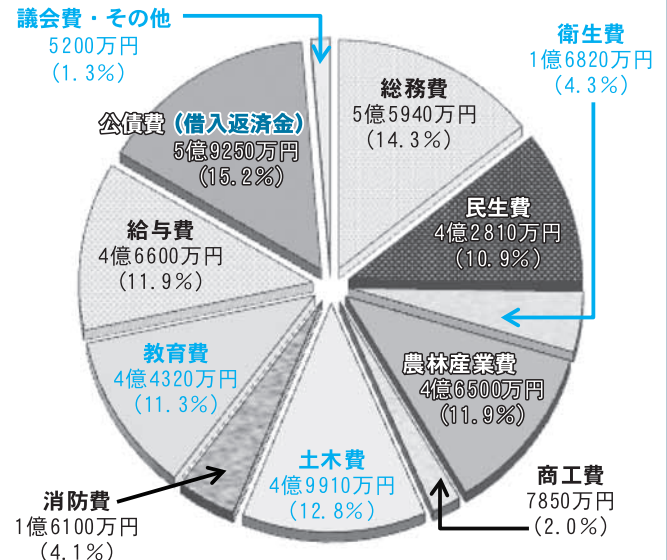
平成26年度一般会計予算では、前のページ以外にも乳児のロタワクチン接種や脳ドック検診への助成など、村民の健康保持を考えた新規事業が提出され可決しました。その他の注目事業を紹介します。

今年の注目事業

一般会計 歳入内訳



一般会計 歳出内訳





地域おこし協力隊

鶴居村が、村外出身者の新鮮な目線で、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献してもらうことを目的として1名を募集します。

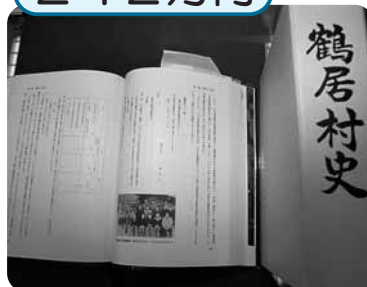
308万円



開村80周年村史

平成29年の開村80周年に向けて、村史を作成します。

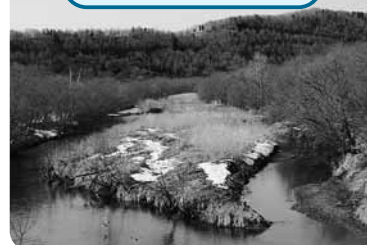
242万円



雪裡川中州撤去

音羽橋下流のタンチョウのねぐらになっている所に、土砂が堆積しているので撤去します。

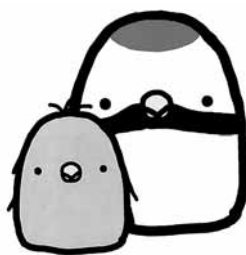
707万円



ゆるキャラ製作 & イメージソング

くまモン・ふなっしーを超えるか!?

223万円



ファイターズ観戦

村内の小学5・6年生と中学生を対象とした、村独自の応援ツアーで、帯広に行きます。

72万円



平成26年度各会計予算

会 計 名	26 年 度	25 年 度	前 年 対 比
一 般 会 計	39億1300万円	31億8600万円	7 億2700万円
特 別 会 計			
水 道	4820万円	3360万円	1460万円
農業集落排水事業	7240万円	8230万円	△ 990万円
国民健康保険	3 億6150万円	3 億2870万円	3280万円
診療 所	8680万円	9230万円	△ 550万円
介 護 保 険	2 億5580万円	2 億4880万円	700万円
後期高齢者医療	3060万円	2730万円	330万円
小 計	8 億5530万円	8 億1300万円	4230万円
計	47億6830万円	39億9900万円	7 億6930万円

平成26年3月末の地方債残高(借入金)と基金残高(貯金)の状況 平成26年2月末人口:2,533人

項 目	金 額	備 考
地方債残高(借入金)	48億3496万円	見 込 額
基金残高(貯金)	66億0685万円	見 込 額

260万円 - 190万円 = 70万円

《住民一人当たりの貯金額です》



費用対効果は？ 事業効率化は？

松井広道委員

問 運動広場の改修工事を行います。遊具や施設などの安全管理は？

答 年に一度点検をしています。指定管理者とともに安全に十分配慮します。

問 観光用DVDを作成しますが、村の人口や面積、乳牛の頭数などの情報を加える考えは？

答 十分可能だと思いうので検討したい。

問 災害時用の備品購入はどのような物を？

また、電気や石油に頼らない暖房設備も必要では？

答 実際に避難場所になった場合を想定した備品の購入を行います。電源を必要としないストーブも購入します。

松井洋和委員

問 スマホやタブレットの普及により、ラインやツイッターによる情報発信が拡大しています。

村もそれらを使った発信を検討しては？

答 今後、検討します。

問 新規事業へは企業化支援事業という素晴らしい事業がありますが、長い不況で体力が低下している、既存の事業者への設備投資などの支援の考えは？

答 商工会などと検討したい。

問 JAの教育ローンと学生支援機構の奨学金への利子補給をしています。

元金の上限は200万円ですが、上限引きも必要では？

答 庁内で早急に検討したい。

吉田保博委員

問 新たに下幌呂に70区画の宅地分譲をしますが、販売見込みと企業誘致は？

(P8参照)

答 夢の杜団地の販売実績を考慮すると十分見込めますし、雇用確保のためにも企業誘致の用地確保は必要と考えています。

問 昨年の長雨の影響で、牧草地が流されるなどの被害への対応は？

答 被害の調査はしていませんが、必要であればどのような対応が出来るか検討したい。

問 出生数が減少しています。

「生んでくれたら村が育てる」くらいの対策が必要では？

答 課題はたくさんありますが、将来に向けた対応をしたい。

秋里広志委員

問 脳ドックへの助成を受けるには？(P4参照)

答 特定検診を受診している40歳以上の住民で、加入している健康保険組合の助成がない方が対象になります。

問 エゾシカや熊による牧草地の被害を防ぐための、電気牧柵設置の補助が見送られた理由は？

答 国の補助基準が厳しく、26年度に詳細を詰める補助申請をしたい。

問 酪農で使用するオガ粉への5%の助成が終了します。消費増税や他業者との価格差を考慮すると継続すべきでは？

答 森林資源の利用促進の助成なので、一定の効果があつたと認識していますが、今後、指定管理者と検討したい。



友だちはたくさんの方がいい

平成26年度 予算審議

平成26年度の予算委員会は、一般会計予算審議だけで、丸2日間を費やしました。内容や、費用対効果・事業効率について充実した議論をしました。

佐藤吉人委員

問 高速道路で平成27年3月には白糠町、平成28年には阿寒町まで開通します。村の対応は？

答 今後、独自の取り組みも必要と考えています。

問 移住体験住宅を鶴居市街と幌呂市街に1戸ずつ建てますが、冬期に高齢者が住めるような住宅に対応することは？

答 定住化目的の住宅なので高齢者の冬期集住は考えていません。
(P15参照)

問 雪裡川の音羽橋下流の中州を撤去しますが、タンチョウや漁業などの関係者の理解は？(P5参照)

答 一定程度の団体の理解は得ていますが、今後内容告知に努めます。

及川満浩委員

問 保育所の開所日数は？また、共働き世帯にも対応出来ていますか？

答 年間約220日開所しています。利用しやすいように「子ども・子育て会議」で議論したい。

問 不燃ゴミの分別作業所の建設は、障がい者の雇用の場の確保として期待していましたが、実際は月に2日間ほどです。

答 障がい者の雇用について村の対応は？

答 数字的に雇用率は低くいかかもしれませんが、村として前向きな対応をしています。

問 企業家支援事業を農家も対象にしては？

答 新規事業や新分野進出であれば、農家も対象になります。

大津泰則委員

問 村ホームページの改装費用に、ふるさと納税の「鶴の居る村基金」を使用しますが、この事業は一般財源で対応すべきでは？

答 今後、基金の管理運用は慎重に取り扱いたい。

問 乳質が管内でも低いレベルまで低下しています。乳質改善補助金の交付基準を見直す考えは？

答 最大限の改善の努力をしても効果が現れないときは、見直しも必要と考えます。

問 努力が報われるような事業にしたい。

問 介護ヘルパー賃金が低く離職率が高いと聞きます。今後の高齢化社会を考えると他町村に劣らない賃金体制が必要では？

答 十分考慮したい。



おまかせ下さい

松井宏志委員

問 幌呂市街にある旧宝石工場跡の利用は？

答 今後の活用は未定で、活用方法を思案中です。

問 介護ヘルパー賃金が低く離職率が高いと聞きます。今後の高齢化社会を考えると他町村に劣らない賃金体制が必要では？

答 十分考慮したい。

問 救急出動が年間134件となっていますが、要請が重複した場合は？

答 重複時に職員の対応が可能であれば、指揮車を使用しています。

問 少子化が進むなか、小学校3校、中学校2校の体制の今後を心配しています。将来に向けての見通しは？

答 現在、小学校の維持は可能だと考えますが、今まで幌呂中学校は子どもがいる先生に来てもらって維持してきました。平成26年度には学級数の減少により、先生の配置数が減少します。平成29年度にはさらに減少することが予測されます。それにより、中学校の先生は専門教科を教えているため、教育の質の低下が心配されます。

しかし、学校配置については、保護者や地域の意見がとても重要だと考えています。

全道179市町村のうち、小学校1校、中学校1校体制が36市町村、小学校数校、中学校1校体制が40市町村となっています。



大石村長の村政執行方針

4つの柱



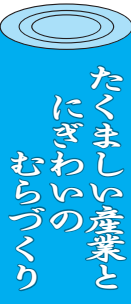
人を育てる

むらづくり

村民が自由に学習機会を選択し、鶴居らしい生涯学習社会の実現のための取組を推進します。

「鶴居村子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

下幌呂小学校の増築や鶴居中学校の耐震補強工事、そして「高等学校等人材育成支援金」制度を創設します。



たくましい産業とにぎわいのむらづくり

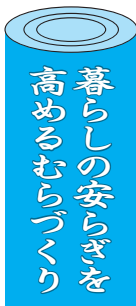
下幌呂公共用地内の新分譲地造成工事や、さく井工事で水道の安定給水に努めます。

次代を担う農業後継者の育成や確保に向け、担い手支援対策などに係る新しい組織を検討します。



下幌呂公共用地分譲地

また、利便性の高い公共交通機関の確保に努めます。



暮らしの安らぎを高めるむらづくり

健康増進計画や第6期

鶴居村高齢者保健福祉計

画、介護保険事業計画を策定します。

「脳ドック」の受診に一部助成を行います。

前期高齢者の医療費について、65歳以上74歳までの負担割合を解消するために老人医療費助成制度を平準化します。

生活安全については「第

一分団下幌呂消防部」を創設するとともに、本村初の女性消防団員の配置や下幌呂消防部詰所の実施設など、火災防衛体制に万全を期します。



ともに考え、行動するむらづくり

「村づくり懇話会」の継続や地域・各種団体などからの要請に応え、村長による「(仮称)出前懇談」を新たに試みて、地域などへ足を運び、より身近な交流や情報共有などに努めます。

さらに、地域おこし協力隊員の配置、「美しい村づくり」を推進する地域組織や地域活性化の推進に努めます。

財政運営は、安定した財政基盤の維持に努めます。

教育行政執行方針

「学校教育」

- 1、実践的な力を育成するための教育活動の推進
- 2、地域の特色を十分に生かした鶴居村ならではの教育活動の推進
- 3、安全・安心な学習生活環境を確保するための施設設備の整備充実

「生涯学習」

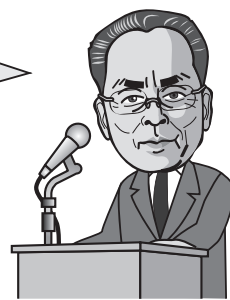
- 1、生涯学習活動が円滑に機能し、推進するための体制づくり
- 2、各種事業の円滑な推進
- 3、本村の歴史的財産の保存ならびに生涯学習施設の整備と有効なる利活用



釧路町村議会議長会

平成26年度事業計画および歳入歳出予算は、前年対比3万2000円増の326万3000円で承認されました。管内の議員研修は、10月23・24日弟子屈町で開催します。

私より
諸般報告をします。



北海道町村議会 議長会理事会

平成26年度事業計画および歳入歳出予算は、それぞれ6100万円で全会一致で承認しました。理事会終了後、高橋知事と懇談会が開催され、6地区の議長会から課題を提起しました。

私より
行政報告をします。



美しい村プレミアム

商品券の発行事業
地元消費の確保や住民生活への支援などを目的に、1セット1万円に5000円を加算した商品

券を販売したところ、予定より早く完売し当初の目的を達成しました。



下久著呂簡易郵便局 の移転統合

日本郵便関係者から標茶町中久著呂の久著路郵便局に移転統合する報告を受けました。

移転統合後の集配業務については、鶴居郵便局が引き継ぎます。

期待しています

4月1日付で

新規採用職員の内定者

新規採用職員については、釧路町ならびに鶴居村出身者で事務職2名の採用を予定しています。

また、道との職員交流の規定に基づき、村から教育委員会教育課主事の石塚裕祐を派遣します。



石塚裕祐

平成26年度

酪農畜産対策の

中央要望行動

平成26年度の加工原料乳の限度数量や補給金単価の改定が迫ったことから、釧根の関係機関合同で中央要望を行いました。伊東代議士はじめ道内

国会議員や農水省の関係部局を訪ね、酪農経営の窮状を訴えました。

加工原料乳生産者補給金

前年対比 25銭引き上げ
13円25銭

限度数量

前年対比 1万トﾝ減
180万トﾝ

さらに、チーズ向けの生乳があらためて、補給金制度の対象となるなど各種酪農畜産政策が決定しました。

むらづくり懇話会

村内の団体や有識者など、男女9名の参加をいただき、日々の生活や活動を通じて、今後の村政の推進やむらづくり



女性が多く出席されたこともあり、女性の立場や視点からイベントや地域行事などへの村民参加を促す意見や観光振興、美しいむらづくりなどについて、有意義な意見交換ができました。



もっと活々とした村を目指して

活動などに寄与していただくことを目的に、「美しい村・むらづくり懇話会」を開催しました。

3月定例会議案審議

	予 算 名	増 減 な ら び に 総 額
25年度補正予算	一般会計補正予算	5193万 5 千円追加、総額36億2688万 7 千円
	水道特別会計補正予算	48万 3 千円追加、総額3408万 3 千円
	農業集落排水特別会計補正予算	167万 6 千円減額、総額7231万 4 千円
	国民健康保険特別会計補正予算	3449万 2 千円追加、総額 4 億984万 4 千円
	診療所特別会計補正予算	253万 2 千円減額、総額8955万 4 千円
	介護保険特別会計補正予算	3174万 9 千円減額、総額 2 億3023万 5 千円
	後期高齢者医療特別会計補正予算	210万 4 千円追加、総額2916万 5 千円

第1回定例会は3月11日に開会し、20日に閉会しました。

村からは、一般会計補正予算ならびに各会計補正予算、条例の改正、指定管理者の制定、工事請負契約の締結、土地の処分、各会計新年度予算が上程され、すべての議案を可決しました。

また、議員提出議案として専決処分事項の指定、意見書3件を提出し、可決しました。

新年度予算

3月17日開会の予算特別委員会に付託された、平成26年度各会計予算は全員賛成で可決されました。

条例改正

市町村職員退職手当組合規約の変更は、地方自治法に基づくものです。

補正予算

一般会計補正予算は不用額の整理と、国の経済対策による新年度予算の前倒しによるものです。

水道・農業集落排水事業・診療所・後期高齢者医療の4特別会計は決算見込みに基づくものです。

国民健康保険特別会計補正予算は、医療費の増加を見込んだものです。

介護保険特別会計補正予算はサービス利用者の減少によるものです。

すべて全員賛成で可決しました。

担割合の改正です。

社会教育委員設置条例の改正は社会教育法の改正によるものです。

すべて全員賛成で可決しました。

契約の締結

鶴居A団地公営

住宅建築主体工事

方法：指名競争入札
金額：8065万4千円

鶴居村ファームイン

鶴居村を楽しむ会

鶴居村地域資源循環施設

鶴居村森林組合

それぞれ指定期間は5年間となります。

すべて全員賛成で可決しました。

専決処分事項の指定

村が損害賠償する場合、その額が30万円以下であれば、議会の承認なしで執行できるようにしました。





Q & A

あれこれ

条例の改正

問 行方不明者捜索協力隊の報酬は日額8000円ですが、捜索が長時間におよぶ場合は？

答 細部については今後、使用規定を設けます。

問 村職員一人を道庁に派遣するのは？

答 今回は若手の実務研修としての派遣で、全道から24人が参加します。

問 老人医療費の助成は全道でも4自治体しか行っていない先進的な制度ですが、4月1日からおもに65歳以上の負担が1割から2割負担になります。その周知は十分ですか？

答 広報つるいやIP告知、役場窓口などで周知していきます。

詳しくは、保健福祉課へお問い合わせ下さい。

64-2116

補正予算

エゾシカの捕獲減少

1010万円減額
計 737万円

問 エゾシカの捕獲頭数などの減少の要因は？

答 昨年、相当数捕獲されていた猟友会のメンバーが、諸事情により捕獲できなかったことがおもな原因と考えています。

問 酪農被害も深刻ですが、今後の対策は？

答 囲い罠やくくり罠、必要であれば道職員の派遣など、様々な方策を考えたい。



終わりのない戦い

乳質低下で改善補助金

530万円減額
計 4870万円

問 乳質改善奨励事業補助金で対象乳量が下回り、530万円減額補正されています。

先日、酪農のシンポジウムに出席し資料を見ると、本村の乳質は管内でも最低クラスでした。

良質乳生産という鶴居村の酪農の根幹が揺らいでいるのは？

答 平成23年頃から急に乳質は低下しています。現状、乳質の二極化が進んでいて、関係機関と協議を行います。

(P7参照)

討論

反対討論



佐藤吉人議員

再生可能エネルギーの固定価格買取制度は20年間です。その間に所有者が二転三転したり、その土地に何かを設置したり、村や住民が関与できなくなることも予測されます。雇用や地域への恩恵も何のメリットも無いので反対します。

賛成討論



松井廣道議員

土地の処分

中幌呂の土地を太陽光発電の企業に売却します。

面積…2万6314㎡

価格…1315万7千円

相手…合同会社

丸の内エナジー

賛成7人・反対1人で

可決しました。

村は㈱アドバンテック社と十分に協議をし、事業終了時には村が優先的に買戻しできる契約となっています。また、再生可能エネルギーは必要な事業であり、しっかり計画立案し全国展開している㈱アドバンテック社は十分信頼できるので賛成します。



書 見 意

提出 へ 国



「手話言語法」制定を 求める意見書

提出者 松井洋和
賛成者 東 隆行
佐藤吉人
及川満浩

手話とは音声ではなく、手指や体の動き、表情を使う独自の語彙や、文法体系を持つ言語であり手話は大切な情報獲得とコミュニケーションの手段です。

国連総会で、平成18年12月に採択された「障害者権利条約」では、手話が言語に含まれることが明記されました。よって、国に「手話言語法（仮称）」を制定するよう強く求める。

TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

提出者 佐藤吉人
賛成者 東 隆行
及川満浩
松井洋和

1、TPP交渉に係る衆参両院農林水産委員

会決議の遵守

「環太平洋パートナーシップ協定（TPP）交渉参加に関する件について」を遵守するとともに、決議が遵守できない場合は、TPPから脱退すること。

2、すべての国際貿易交渉における重要品目等の関税維持

EPA・FTAのすべての国際貿易交渉において重要な品目などの関税など必要な国境措置を維持するとともに、衆参両院農林水産委員会における決議「日豪EPAの交渉開始に関する遵守する件」を遵守すること。



ウイルス性肝炎患者 に対する医療費助成 拡充を求める意見書

提出者 及川満浩
賛成者 東 隆行
佐藤吉人
松井洋和

医療費助成の対象から外れている、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難をきたしている。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

一般質問

村政のここを問う

6人の議員が20項目の質問

高校生への支援金に
メッセージを添えては？

検討し具体的に対応したい！



秋里議員

教育執行方針の中に、子育ておよび人材育成にむけた支援として「高等学校等人材育成事業支援金」制度（P3参照）を設けることが記されています。

このことは、広くは定住対策、少子化対策にもつながる画期的な施策になると思いますし、保護者の経済的な負担の軽減をはかり、なおかつ修学上の利便性にも大きく貢献することになると思います。

ます。また「在学する生徒に、人材育成に資することを目的とし」とありますが、私はこのくだりに大きな意義があると思います。

教育委員会ならび村にとしては、一人でも多くの生徒が、将来何らかの形で鶴居村との関わりがでてくることへの期待と熱い想いが込められているのだと考えます。

この事の意義を踏まえ支給に際して、対象生徒一人ひとりに教育長、あるいは村長のメッセージを添えてはと提案します。

国安教育長

今回の高等学校等人材育成事業支援金は、本村

には高校がなく、多くの生徒は釧路市、釧路管内の高校へ進学し、バス通学や下宿により修学していますが、保護者には大きな費用負担となっています。経済的な負担の軽減にも配慮して制度を設けました。

支援の対象は、あくまでも高校などに修学している生徒の保護者で、鶴居村の住民としています。支援金の支給はまず、申請手続きをし、必要な事項を調査したのち、交付決定を行い、年3回に分けて保護者の指定口座へ交付します。

また、対象生徒へメッセージを添えてはとの意見ですが、村の期待感を表す有効な手段と考えますので、理事者とも相談、検討し具体的に対応したい。

保護者の声

鶴居村中雪裡南

前野 ひろみ

我が家が引越してきた理由は、自然が多く、中学生まで医療費無料など、安心して子育てが出来る環境であることでした。高校になつたら村外へ通学する事はわかっていましたが、実際通わせると通学にかかる距離、時間、バス代、悪天候、部活の送迎など様々な問題で想像以上に大きな負担となっていました。

今回、高校生を持つ家庭の状況を理解し、支援金の制度を作って下さり、本当に感謝しています。

支援金の申し込みは5月末です。
詳しくは教育委員会へお問い合わせ下さい。

TEL 64-2050



「子育て」と「観光」の今後は？

住民などから幅広い意見を伺いながら！



大石村長

松井洋和議員

平成25年度に調査している「子ども・子育て支援事業計画」と「観光振興ビジョン」は、今後の鶴居村を支える太い柱となる重要な計画です。

平成26年度は実施計画の策定に取りかかりますが、十分に議論を重ねて素晴らしい計画となることを期待しています。

そこで、どのような工程で計画を策定するのか伺います。

大石村長 本年1月以降、「子ども子育てニーズ調査」を実施しました。

松井洋和議員 平成26年度は「鶴居村子ども子育て支援事業計画」を策定しますが、早期に策定委員会や片内検討会議を開始し、策定委員会については、第1回目は「根拠法令および策定の趣旨や概要、ニーズ調査の結果報告など」を議題とし、第2回目は「計画策定に係る子育て支援策や基本体系など、各委員からの意見集約」、第3回目は「中間素案の検討、や計画書の内容構成検討」、そして第4回目以降は「計画素案の決定など」を予定しています。

定しています。

次に、「観光振興ビジョン」ですが、平成25年度は、事前調査として現状調査分析と本村観光施設の利用状況調査分析を実施しました。

平成26年度は「観光振興ビジョン」の策定事業として、二つの事を策定委員会検討します。

一つ目は「観光振興ビジョンの策定」で、現状分析した課題を整理し、課題解決の検討とビジョ

ン案の検討をします。

二つ目は「観光振興戦略策定」で、戦略の組み立てや推進体制の整理と事業推進スケジュールを策定委員会で検討します。

「子ども・子育て支援事業計画」、「観光振興ビジョン」は、今後の鶴居村を支える重要な計画なので、住民や知識経験者などから幅広い意見を伺いながら、村として最終的な計画を策定したいと考えています。



子育て支援をしっかりと

AKB48「恋するフォーチュンクッキー」?

時代を先取りした新たな取り組みも！

松井洋和議員

大石村長

AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」の曲を使って、自治体や企業がPR動画を作成し、宣伝することが流行しています。

先月、弟子屈町でも作成し動画サイトに投稿したところ、1週間で5万回以上の再生回数となり、大変なPR効果となっているようです。

今後、「鶴居村」の素晴らしいさをどのようにPRするかが非常に重要になってくると思いますが、鶴居村の顔となるような広報担当に内外への広報・宣伝活動を集約するなども考えてはいかがでしょうか。そこで、本村のPRの今後について伺います。

松井洋和議員 今後、「ゆるキャラ」の積極的な活用やホームページ・メディアの活用、更には「地域おこし協力隊員」の配置による村内外への積極的な情報発信など、村の宣伝活動を含む地域づくりに特化した新たな人材の登用など、活動の充実を図りたいと考えています。

「恋するフォーチュンクッキー」による弟子屈などの取り組みは、社会的ブームに乗って、比較的短期間で良い効果をもたらす手法として、非常に参考になると考えています。

時代を先取りした新たな取り組みも、これからは積極的に展開したいと考えています。

今後、「ゆるキャラ」の積極的な活用やホームページ・メディアの活用、更には「地域おこし協力隊員」の配置による村内外への積極的な情報発信など、村の宣伝活動を含む地域づくりに特化した新たな人材の登用など、活動の充実を図りたいと考えています。

温根内ビクターセンターの改修に
対するリサーチへの回答内容は？

関係機関や団体が一同に
会した協議を要望！



佐藤議員

平成4年にオープンした環境省温根内ビクターセンターの改修計画は、28年度完成の予定です。関係する町村に設計のコンセプトをリサーチしたと聞いています。本施設は本村に位置し、釧路湿原国立公園の中でも、もっとも多くの観光客が訪れる施設です。鶴居村も大いに活用できると考えますが、村の回答内容について伺います。

大石村長

この施設には年間3〜4万人の来場者があり、釧路湿原に隣接する市町村との連携強化を図りたいとの担当者の思いから、意見を求められたようです。

本件については、環境省からの公式な要請があったから、本村を含む関係機関や団体が一同に会した中での協議を要望しました。



改築が望まれる

新たな農業の
展開が必要では？

調査研究し可能性
を探っていく！

佐藤議員

昨今の厳しい酪農の現状を見聞きすると、通年栽培、そして通年出荷可能なハウス野菜の栽培など、新たな農業の展開も必要になってきていると思いますが、村長の考えを伺います。

大石村長

現在の離農状況を考えて、耕作放棄地の増加が懸念されます。

鶴居村の冷涼な気候と病害虫が少ない自然環境などを活かした栽培の可能性や、耕畜連携で酪農から出される良質な堆肥を活用した、域内循環サイクルを目指す取り組み

も一つの方法と思います。

新たな農業の展開も含め、地域経済再生のために調査研究し、可能性を関係団体などと探りたい。

冬期集住・夏期滞在型
(集合)住宅の検討は？

専用住宅の設置は
考えていない！

佐藤議員

希望する独居や高齢者夫婦など、冬期間に村の中心地に移住していただき、春には自宅に戻り、春から秋までは長期滞在者を受け入れる食事付き専用住宅の設置について考えを伺います。

大石村長

村内高齢者向けの「冬期集住・夏期滞在型住宅」の専用住宅設置については考えていません。

鶴居村の「おもてなしグッズ」は？

広報媒体の
作成を検討！

佐藤議員

本村でも鶴居CIマークやゆるキャラデザインも決定したので、鶴居村のおもてなしグッズの制作製造の検討をしてはどうですか。

大石村長

CIマークやゆるキャラなどを活用した広報媒体作成を検討します。



鶴縁(つるえん)での
全国的PR活動は？

色んな場面を見据えて
対応する！

佐藤議員

タンチョウをシンボルマークとしている企業や店が数多くあります。それらを活用して鶴居村のPR活動を展開してはどうですか。

大石村長

これまでもタンチョウを活かした観光や地域振興の宣伝活動を実施してきましたが、

今後も「鶴」つながりにこだわらず、本村の地域振興に資する情報収集に努めるため、色々な場面を見据えながら対応します。



介護保険「要支援」者への対応は？

利用者に不利益が生じないよう対応！



及川議員

現在、介護保険制度の改正が進められ「要支援者」への地域支援事業が、国基準の介護保険給付から切り離され市町村事業へ移行されます。
特に主たるサービスである訪問・通所介護は利用者には大きな影響を与えず、また、事業費に上限を設けるなど利用制限につながる心配もあります。
地域支援事業への対応を伺います。

大石村長

本村では、要支援の方々へ介護サービスを提供する住民主体の取り組みはありません。介護という専門性を考慮すると、「新たな総合事業」では、村が直接的に取り組む方法でなければ対応出来ないと思われれます。
また、国・道からの財源措置が無い場合には、村やサービス利用者の負担増が避けられないと思われれます。
いずれにしても、新たな介護保険事業は、介護サービスを受けられる方々に不利益が生じないよう十分に配慮したい。

住民参加の計画策定は？

十分に反映できるように取り組む！

及川議員

昨今、住民参加の自治運営がうたわれるようになり、第4次総合計画でも協働のむらづくりが記されています。
平成26年度も福祉・産業関連の事業計画の策定が予定されていますが、策定にかかわる住民参加への対応を伺います。

大石村長

新たな計画の策定は、村が定める要綱・規程などに基づいた委員会にて進めます。
その際の住民参加への対応は、ニーズ調査や実態調査を行いながら現状把握に努め、委員会構成も団体選出の委員や公募委員への委嘱など、幅広く村民に参加していただき、村民の意見・ニーズなどを十分に反映できるように、計画の策定に取り組めます。



住民参加による委員会

下幌呂地区への今後の対応は？

将来展望を持ちながら対応！

及川議員

下幌呂地区の人口増加にともない、住民サービスの提供も従来の施策にとどまらない新たな展開が必要と思われます。将来的な展望と計画を伺います。

大石村長

下幌呂地区では、上下水道整備や消防団員の確保、消防詰所の建設、下幌呂小の増改築などを新年度に予算化しました。
今後は、新たなニーズに応じたインフラ整備や、住民サービスが必要になると想定され、地域の将来を見据えながら対応したい。

公共施設等総合管理計画の策定は？

予定はないが公共施設の配置は慎重に！

及川議員

鶴居村では「鶴居市街施設構想図」を作成し、国では「公共施設等総合管理計画」の策定が推奨されています。両事業は関連性が高いと思われれますが対応を伺います。

大石村長

「公共施設等総合管理計画」は、将来の財政負担の軽減や、公共施設などの最適な配置を目的とし、関連性が高いと認識しています。現時点では計画を策定する予定はありませんが、公共施設などの配置は、市街地形成にも係わるので、慎重に進めたい。



「たくましい産業とにぎわいの
むらづくり」の協議組織は？

新たな協議機関を早急に設置！



吉田議員

村は農業後継者の育成や確保に向け、担い手支援対策などにかかわる新たな組織を検討するほか、新規就農者の確保など、農業後継者対策に努めるとしています。村の基幹産業は早急な対策が必要です。農家も個々に危機感をもち、共同作業の効率化・TMRセンターなどを検討している地区もあります。どのような組織と時期を考えているか伺います。

大石村長

今後の酪農経営のあり方や後継者、担い手対策などの体制整備を急ぐ必要があり、新たな協議機関を新年度早急に設置し、幅広い議論をしながら対応策をまとめたい。



観光振興ビジョンの内容は？

「ビジョン」と「戦略」を策定！

吉田議員

村民の意見を反映させ、観光振興戦略などの計画を策定するとしてます。先日の各種団体と意見交換会では、観光組織の一体化や、結びつきなどが必要との意見がありました。考えを伺います。

大石村長

「振興ビジョン」では施策の方向性を明確化し、将来目標を設定します。「振興戦略」ではハード・ソフト両面の具体的な戦略を策定します。一体化などは今後の検討課題としたい。

「出前懇談」には職員の参加も！

私と共に行動してもらおうことも検討！

吉田議員

村長による「出前懇談」を行い、より身近な交流や情報共有などに努めたいとしていますが、課長クラスなど職員の出番も必要と思いますが考えを伺います。

大石村長

むらづくり懇話会に連し、住民の様々な思いや意見を聞かせてもらうため、私自身が率先して行動することが必要と考えています。また、課長をはじめ職員にも私と共に行動してもらおう方策も検討したい。

有害情報から子どもを守るための取組は？

未然防止に取組む！

吉田議員

有害情報から「子どもを守るための取組」の充実に努めるとしています。児童生徒の本村の状況と取組み状況について伺います。

国安教育長

昨年実施した生活実態アンケートでは、携帯電話の所持率は中学2・3年で約2割、利用の約束事は半数が「ない」となっています。また、トラブルも9件と増えています。ネットのトラブルは起こりうると考え、学校とも情報交換し対応をしたい。

支援金の根拠と支給を停止する場合は？

総合的に勘案し算定！取消は辞退など。

吉田議員

高等学校等人材育成事業支援金の3年間月額1万円の根拠と支援金を受けられない場合など、詳細を伺います。

国安教育長

修学の祝いや将来に期待、本村の未来を担っていただくなど総合的に考えて算出しました。卒業や保護者の村外転出で終了します。また取り消しや返還を求める場合は、辞退や途中退学、規則違反を想定しています。



児童数が増えても教室の確保はできるのか？

十分な教育環境が達成されます。



大津議員

下幌呂小学校が平成26年度、特別教室などの教育環境の整備のため改築します。

平成25年度、夢の杜団地から下幌呂小学校に通学する児童は「20人」、鶴居中学校に通学する生徒は「11人」の合計31人で、その他に就学前の子ども達も多数います。医療費無料化や教育資金への利子補給、そして今年度からは高等学校等人材育成事業として、一人月額1万円の支給を決

定し、全道に「教育の鶴居」という名が浸透している

本村は、今後児童数が増える可能性があります。

さらに、平成26年度から下幌呂新宅地造成工事（70区画中26区画）が始まります。

今後の児童数の増加に十分対応できるのか伺います。

国安教育長

下幌呂小学校は現在、特別支援学級を含め6学級編制ですが、平成21・22年度は7学級編制でした。そのため、学級を確保するために特別教室を教室に転用したため、学校全体が手狭になりました。そこで、特別教室の併用解消と、今後の児童数

や学級数の推移を予測して、校舎を増築することになりました。

児童数の増加を期待していますが、現時点では、普通学級4学級、特別支援学級3学級の合計7学級編制と、特別教室を確保することができるので、十分な教育環境を達成されるものと考えています。



教育環境の整備が進む

下幌呂の防災体制は？

第一分団下幌呂部を創設！

大津議員

下幌呂夢の杜団地は、73区画中68区画が販売さ

れ、定住対策に大きな成果を上げています。

平成26年度からは、新たな宅地造成事業として「70区画中26区画」の造成が始まります。

この地域の課題としては、「子育て支援、教育環境の整備」「老人福祉の環境整備」そして、174世帯・420人の生命の安全を守る「防災体制の整備」です。

第一分団下幌呂部を創設し、消防部の詰所の実施設計を行います。常時職員が配置されるのか、また、機能別団員として教職員が対象とならないのか伺います。

大石村長

第一分団下幌呂消防部の詰所の規模・内容については、消防部の団員定数12人や他の分団の間取りを参考にしながら、和室、物品庫、トイレ・流し、

配備車両の車庫などを想定し、120㎡程度の建築面積を予定しています。

車庫は、水槽付ポンプ車1台を収納できる大きさです。

常時職員の配置は難しいですが今後、諸問題については消防署や地元自治会などと協議しながら検討したい。



下幌呂へも拡大進む消防団

基金の増額は？

他の基金からの繰り入れも検討！

大津議員

当初一億円あった「ふ

るさと創生基金」が、平成26年度末には約3837万円となる見込みで、今後の継続が心配されます。

そこで、基金の増額をどのように考えているのか伺います。

また、市川町鶴居中学校との交流事業の重要性は理解しますが、15年の節目にあたり、今一度、交流事業を見直し「美しい村連合の自治体との交流」や「海外研修」など検討されてはいかがですか。

大石村長

平成26年度末までに、基金総額のおよそ60%相当額を取り崩す見込みであり、他の基金などからの繰入による増額も含め、適切な運用方法を検討していきます。

交流事業については、様々な角度から検討し議論したい。



委員会報告

産業常任委員会

2月17日に総合センター第一研修室で、「鶴居村の今後と商工観光について」をテーマに、住民との意見交換会を開催しました。

(P 20・21参照)

総務常任委員会

4月9日にグリーンパークつるいの会議室で「子ども子育てについて」をテーマに、住民との「意見交換会」を開催しました。

(P 22・23参照)

議会運営委員会

3月4日に3月定例会の日程などについて協議し、会期を3月11日から20日までの10日間としました。3月18日には、20日の時間変更の件を協議しました。

広域連携 議会報告

釧路公立大学

12月定例会

松井(洋)議員より、「平成24年度釧路公立大学決算」「平成25年度釧路公立大学補正予算」「釧路公立大学教員の給与に関する条例の改正」「公平委員の選任」「公平委員の選任についての同意」「専決処分について、原案通り可決された報告がありました。



釧路広域連合議会

2月定例会

秋里議員より、「平成26年度釧路広域連合一般会計予算」「消費税の税率引き上げに伴う条例の整理」「事務管理者の選任」について、原案通り可決された報告がありました。

第一回釧路北 消防議会定例会

佐藤議員より、「北海道市町村職員退職手当組合規約の変更」「消防長および消防署長の資格基準を定める条例」「消防団員の定数、任免、報酬、服務などに関する条例の制定」「職員の再任用に関する条例の制定」「手数料条例の改正」「平成25年度一般会計補正予算」「平成26年度一般会計予算」について、原案通り可決された報告がありました。

議長・議員が参加した行事



入学式



卒業式



村HPのデモ



押味医師の講演会



カルタ大会



タンチョウフェス



「く」のために 意見交換会

平成26年2月17日に総合センター第一研修室で「鶴居村の今後と商工観光について」をテーマに、関係団体の皆さんと意見交換会を開催しました。

産業常任委員会

委員長 吉田 保博

副委員長 東 隆行

委員 及川 満浩

委員 大津 泰則

オブザーバー

議長 松井 宏志



日野浦正志さん



音成邦仁さん



服部政人さん



大津英大さん

はじめに吉田産業常任委員長が、議会改革の環境である「委員会の意見交換会」の趣旨説明をしました。

次に、及川委員が産業常任委員会の今までの活動報告を行い、その後委員長の下で、各団体から5分程度でテーマに沿った考えを発表していただきました。

食 飲用乳

飲料乳の生産は難しく、採算は取れない。

鶴居村の乳質は悪くなってきた。

乳質を上げてブランド化しなければ飲料乳は生産できないので、乳質の向上に努め、その後に飲料乳の生産に繋げたい。

イベント

若い力

ふるさとまつりに来た人が、まつりをどう思っているのか確認してみた。自分たちの自己満足で行ってはいけない。若い人達を取り入れるようにしてはどうか。

タンチョウフェステバルでどんな催しをしたか。村民が来てくれるか考えたい。

観光 産業

タンチョウだけでなく、色々な観光資源が必要で、村のビジョン作成の中で取り入れるのはどうか。商工・農業・観光、全部まとめて一本化する方向で行くのが望ましい。





よりよい「むらづ」 産業常任委員会

出席者

商工会 副理事長 桜橋 敏夫

参事 浦島 良明

観光協会 副理事長 大津 英大

事務局長 服部 政人

振興公社 社長 日野浦正志

総務部長 小村今日介

釧路丹頂農協 組合長 武藤 清隆

タンチョウコミュニティ 代表 音成 邦仁

若者層 水本 梨佳

(敬称略)



桜橋敏夫さん 浦嶋良明さん



水本梨佳さん



武藤清隆さん



吉田委員長

食 チーズ

メディアの力は無視できないので、フェイスブックなどで、チーズなどのPRをしています。

チーズの利用・レシピ集の作成やチーズなど食の普及、タンチョウで来ている観光客を地元商店へどのように足を運ばせるかを考えなくてはならない。

応援 日本ハム

応援をしてもらう方法や条件についての情報が必要で、どの範囲まで利用できるか確認しないとけない。

ファイターズの応援大使は、村に一・二回しか来れない。ならば札幌に向いてPRしてもらうなど、観光協会として先陣を切つてやる覚悟が必要。

道の駅構想もあると思うので、村の産業をひとつにして考えるのはどうか。酪農景観を観光資源にするためには、農家や農協との関わりが必要である。

連携

一体感



相対的な意見として、商工観光振興を進めることは、鶴居村の今後の新しい産業おこしにつながるものであり、観光組織の一本化や各種組織との連携を図るべきである。

貴重なご意見ありがとうございました。





平成26年4月9日にグリーンパークつるいの会議室で「子ども・子育てについて」、「鶴居村の未来について」をテーマに、関係団体の皆さんと意見交換会を開催しました。

子ども・子育て

釧路市であれば支援センターがあり、常駐している保育士に子どもを遊ばせながら気軽に相談できます。ひよこ会は親子の交流の場としてはとてもありがたいですが、相談の場としてはプライバシーが心配です。

子どもの身長体重を計る機会がありません。発達具合や虐待のチェックもできます。「ひよこ会」や「遊びの広場」で出来るのではと思います。

下幌呂から幌呂保育所までのバスの送迎に添乗員がいらないのがとても心配です。

障がいのある子は釧路の療育関係に行くことになります。

障がいを持つ子どもを預ける機関が鶴居にはないので、釧路まで行って預けるしかないのですが、とても大変です。

子育てでバタバタしていて余裕のないときに、親同士が楽しく過ごせるような集まりがあれば良かったと思います。お母さん育ても必要です。

今年から鶴居市街に放課後児童クラブができて良かったです。通学バスで補助席を使用していることが心配です。

子育てに忙しい世代の声をどこに届けたら良いかわからない。

釧路の育児サークルで「鶴居はどうなの？」と聞かれても、良い返事ができませんでした。

村には5校の小中学校があります。昔は競技大会などで顔を合わせましたが、最近は少ないようです。同じ学年の顔や名前を知らないのは寂しい。

幌呂小学校は3年生がいなくて、あとはすべて複式学級です。人数が少なくて良い所もたくさんありますが、デメリットも大きいのかなと思います。

高校通学バスの定期券代が高額で苦労しました。今年から助成が決まって良かった。



山田朱美さん



坂本和也さん

秋里忠克さん

総務常任委員会
委員長 松井 広道
委員 松井 洋和
委員長 秋里 広志
委員 佐藤 吉人
委員 松井 洋和
オブザーバー
議長 松井 宏志



岡井悦子さん

酪農家は子どもを生んでも労働が優先され、なかなか自分の手で子育てすることが出来ない時代もありました。今は本当に良くなったと思います。

子どもたちに万一のことが起こったときのために、保護者への救命講習が必要だと思います。

障がいを持つ子を育てる教育環境として、鶴居村は素晴らしいと思います。釧路では障がいの種類や程度によって通う学校が決まり、兄弟で同じ学校に通うことが出来ないことも多いようです。

特別支援学級の子の症状を理解していない保護者も多いと思います。学校で子どもと保護者に説明する場も必要ではないかと思っています。

鶴居村の未来

子育て世帯に来てもらうには、子育て支援を厚くしないと来てもらえないと思います。

子どもたちが、将来戻って来なくなる鶴居村になってほしい。そのためには働く場が必要なので考えてほしいです。

知的障がいは身体の障がいよりも就労の壁は厚いと思います。障がい者が皆と一緒に働ける鶴居村になってほしいです。

子どもたちのほとんどは村外へ就職します。村には親が残され少子高齢化が進むことになり、とても心配しています。

貴重なご意見ありがとうございました。

子育てへの熱い思いを「もっと」聞いてください！

出席者

ひよこ会 会長 岡井 悦子

おひさまの会 会長 山田 朱実

鶴居保育園父母の会 会長 藤原 千晶

鶴居小学校PTA 会長 秋里 忠克

幌呂小学校PTA 会長 坂本 和也

鶴居村女性団体連絡協議会

会長 松井 恒子
副会長 白田さゆり
(敬称略)

なお、当日所要により3名の方が欠席となりました。



藤原千晶さん



松井恒子さん

白田さゆりさん



住民の声



鶴居陶芸丹頂会

主幹 山崎 達生

むずかしいことをやさしく

『むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをゆかいに ゆかいなことをまじめに』これは、私が仕事をする上での Motto のひとつでした。

しかし最近、これが仕事以外でもいえると思い始めています。

私が趣味で陶芸を始めて、約十年あるとき北大路魯山人

が自分の料理に合う器を自分で作っている・・・という記事を写真で見ても作れるのでは？と思っていたときに、友人から誘われたのがきっかけでした。

しかし、当然のことながら思うような形は作れず、井が皿に、茶碗がコップに・・・などなど失敗の繰り返しで、経験するほど奥の深さを感じました。

最近になってようやく目的に近い器を作れるようになってきましたがいまひとつ物足りないことに気がつきました。

それは器に味がないというか暖かみを感じないのです。

私は仕上げに、カギベラやカンナという道具を使い、粘土を削って仕上げます。

これが器を味気ないものにしていてと思い、先輩に指導を仰ぎました。先輩は指の感覚で仕上げます。

げる技法を使っているの で、それぞれに個性と趣 があり芸術を感じます。

しかし、これがまた難しい。

そういうことで、私はまた陶芸一年生からのスタートを切ったところ です。

陶芸に興味のある方は、一緒に始めてみませんか。

さて、ここまで読んで気がついた方もおられる いると思いますが、器は 素焼きの段階でまだ完成 はしません。

そうです釉薬(色付け) があります。

自分が思い描いた形と色を目標に施釉、そして 本焼きをしますが、私は 目的の色を出すのが、こ れまた下手でいつもがっ かりすることの方が多い のです。

冒頭の Motto を生か せず、ただ陶芸を楽しん でいるだけの自分に気づ き、学習能力のなさに反 省を繰り返しています。

芸術家への道

広報陶

今回の《住民 の声》は、鶴居 陶芸丹頂会の主 幹、山崎達生氏 に執筆をお願い しました。

文中に「経験するほど 奥深さを感じ、また陶芸 の一年生からのスタート」 とありました。

そこで、鶴居村議員の 中でも芸術感覚に優れて いる(?) 広報委員全員 で陶芸に挑戦しました。

毎週水曜日の19時から 開催している陶芸教室に 参加し、山崎さんや会員 の皆さんに指導を受け、 芸術性の高い「趣のある 器」作りをスタートをし ました。

まず、作品を決め粘土 をこねます。次に粘土を 積んで形を作るのですが、 少しずつ形になっていく のは、とてもうれしいも のです。



とんでもなく、 教室を汚しながら やっと完成しまし た。

それぞれに自信 作ができた對自己 満足をしています。 ご指導ありがとうございました。

興味のある方は、 一緒に始めてみま せんか。

連絡先 山崎達生宅 6412903まで

次回6月号で「趣のある器」を

発表します。

広報委員会

委員長 大津 泰則
副委員長 佐藤 吉人
委員 及川 満浩
委員 松井 洋和



間伐と間伐材の有効利用を促進して 健全な森づくりに貢献します。



つるい議会だより

平成26年4月30日発行 141号

発行 北海道鶴居村議会
編集 広報調査特別委員会085・1203 鶴居村鶴居西1・1
0154・64・2511